

猿八座 人形浄瑠璃 「山椒太夫」 広野公演

11月5日(土)【人形浄瑠璃公演 山椒太夫】

開催場所：広野町公民館 2階大会議室 開 場：午後1時30分～
開 演：午後2時～午後4時 収容人員：100人程度(入場無料)
主 催：広野町、広野町教育委員会 共 催：(株)福島民報社

※当日の駐車場は、総合グラウンド脇と保育所、保健センター、児童館前を使用してください。

【問い合わせ先】広野町生涯学習課(公民館) ☎0240-27-3244



安寿恋ひしやホウやれホウ 厨子王見たやホウやれホウ

あらすじ

江戸時代の浄瑠璃諸本は様々ですが、森鷗外の「山椒大夫」にはない物語がいくつもありました。物語の最初は、父の岩城判官正氏(まさむね)が家来に謀られ讒言(さんげん)された上、筑紫に流されることから始まります。福島に残された母の御台と安寿・厨子王の親子が都に向かいますが、旅の途中、越後の直井の浦(直江津)で人買いに遭い、母は佐渡へ、姉弟は丹後の山椒太夫に売られます。森鷗外「山椒大夫」では、折檻に耐えながらも、姉は入水して弟の逃亡を助けます。逃げ延びた厨子王は、都へのぼり、出世して丹後の国司になり、山椒太夫を成敗し、母を佐渡で探し出し、再会したのです。このあたりの物語は

森鷗外の小説でよく知られています。

猿八座の台本は鷗外の小説の原本を元にしたものですので、倍近くの分量があります。すべて上演すると全六段、上演時間も四時間に及びますが、福島公演では、初段・二段・五段を中心に、信夫の里(福島)、直井の浦(越後直江津)、丹後の山椒太夫館、佐渡の母子対面に加え、厨子王の凱旋国入りを附しました。登場人物も親子に加え、乳母姥竹とその息子の小八(こはち)が入り、重要な役どころになります。安寿は入水せず、この小八に助けられ、母のいる佐渡で再会できるのですが、意外にも、もっとつらい結末と大団円が待っています。

ひろの秋祭り

●健康まつり
9:00～16:00

【県立医大医師による健康相談等】
食改推進員による試食コーナーもあるよ!

●文化展
9:00～

【各種団体等の作品展示】
5日(土)～16:00
6日(日)～15:00
2日間開催

●収穫祭
10:00～15:00

【農産物の販売や地元商工会等の出店】
公民館駐車場内にて

●健康セミナー
11:00～12:45

【笑い与健康】
講演や落語でリフレッシュ

体育館2F 会議室にて



●放射線相談会
9:00～16:00

【放射線に関する資料や測定器展示】
【水の研修会】
浄水場の見学



11月5日(土) 開催

オープニングセレモニー 10:00

会場：広野町中央体育館他

※駐車場は、総合グラウンド脇と保育所、保健センター、児童館前を使用してください。